

本件は、中電記者クラブ（広島）、エネルギー記者会（東京）で発表しています。

報道資料

平成29年11月27日
大崎クールジェン株式会社

酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験発電所 No.2 石膏貯蔵倉庫からの火災発生について

昨日（平成29年11月26日）、午後0時37分、酸素吹石炭ガス化複合発電（酸素吹IGCC）[※]実証試験発電所（石炭火力、所在地：広島県豊田郡大崎上島町、社長：相曾健司）のNo.2 石膏貯蔵倉庫より発煙を確認したため、ただちに消防署へ通報、社員による初期消火を実施するとともに、消防車が到着し消火活動を開始、午後9時15分に鎮火しました。

火災により倉庫の一部を焼損しましたが、負傷者および発電所敷地外への影響はありません。

火災発生原因の究明および再発防止策については、関係機関にご指導をいただきながら確実に実施してまいります。

火災により、地域住民の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに大変なご心配とご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

以上

※ 酸素を用いてガス化炉で石炭をガス化し、石炭ガス化ガスを燃料としたガスタービン発電と、排熱を利用した蒸気タービン発電を組み合わせた複合発電方式。

（別紙）構内配置図及び構内写真

【お問い合わせ先】

大崎クールジェン株式会社
総務企画部 総務グループ
担当者：萩・高尾

TEL：0846-67-5250

